

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

渚ガーデン八番館

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点	重み係数	内 訳							
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進												
1.1 建物の熱負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 品確法の等級4の省エネ基準、窓部は複層ガラスとカーテンを標準設置。	3.0	0.08	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能		
	5.0	0.43										
		5.0	0.49	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制					
小計	4.8	0.36										
1.2 自然エネルギーの利用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用				
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.2	自然エネルギーの変換利用				
小計	3.0	0.09										
1.3 設備システムの高効率化												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 燃焼系潜熱回収瞬間式給湯器の採用	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化						
小計	5.0	0.18										
1.4 設備システムの効率的運用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください			LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング				
			LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制				
小計												
1.5 資源・マテリアル対策												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 節水型便器や節湯水栓の採用。造作材に集成材を使用。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水				
	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無		
			LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無		
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減				
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用				
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用				
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材				
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				
小計	3.0	0.26										
1.6 ライフサイクルCO2排出率												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.5	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮						
小計	3.5	0.11										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価			4.1	0.72								
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進												
2.1 温熱環境の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出						
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上				
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善				
小計	2.2	0.96										
2.2 交通負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制		
小計	3.0	0.04										
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価			2.3	0.15								
■ 3. 「長寿命化対策」の推進												
3.1 耐用性の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 コンクリートの水セメント比を50%に抑え、品確法の劣化対策等級1の性能を確保。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性		
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	免震・制振性能		
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数		
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		
	3.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔		
小計	3.0	0.47										
3.2 設備の更新性												
(コメント) ※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。 節水型機器の使用	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性		
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性		
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性		
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性		
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性		
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース		
小計	3.0	0.53										
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)			3.0	0.13								
■重点項目の総平均(上記3項目)			3.7									